



11月のえんだより

社会福祉法人 向学会
U NURSERY 新山口2号館
2025年10月31日(金)

10月半ばを過ぎてから日中の気温も下がりはじめ、朝晩の冷え込みに秋の深まりが感じられるようになりました。公園の木々も色づきを始めてくる頃・・子ども達は、どんぐりや松ぼっくりなどの木の実を探しては嬉しそうに拾っています。移りゆく季節を五感で楽しみながら、しっかり身体を動かして遊べるように戸外に出掛けたいと思います。足の発育発達の為にも、足に合った靴を履くようにしましょう。

また、今の時期から薄着の習慣を身に付けていきましょう。朝夕は寒く感じますが、室内は温かです。戸外遊び用に上着で調節をしていくようにし、室内では裏起毛など厚手の物は着ないように心がけましょう。

保育のねらい



<ひよこ組>0歳児

- ・気温の変化に留意し、健康に過ごせるようにする。
- ・保育者と一緒に、全身を使って探索活動を楽しむ。

<りす組>1歳児

- ・保育者と一緒に、簡単な身のまわりのことを楽しみながら取り組めるようにする。
- ・身近な自然に触れ、探索活動を楽しむ。

<ぞう組>2歳児

- ・一人ひとりの思いを受け止め、安心して自分の思いを表現できるようにする。
- ・友だちや保育者と関わりながらいろいろ遊びを楽しむ。



指先を使った遊び・・いろいろ ②

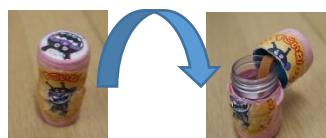


1歳児・・りす組の指先あそび

1歳を過ぎる頃になると、親指と人差し指、中指を使って物をつかめるようになります。2歳頃になると、瓶などの蓋をねじって回す等、指先の細やかな操作ができるようになります。

指先は「第二の脳」と言われ、手を使うことが脳の発達に関係すると言われています。子どもの手の発達に合った指先の遊びを取り入れることで、飽きずに集中して遊ぶことができ、手指の更なる発達が見込まれます。

ふたの開け閉め・レゴブロック



指を3本使って・・



3本の指を上手に使って、形を見ながら合わせたり、入れたりしています。手の動きと目の動きを連動させる・・まさに1歳児さんの姿です。形に合わせる時の子どもたちの表情は真剣そのもの！集中して遊んでいます。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」

⑥思考力の芽生え

乳児のうちは、周囲の環境に好奇心を持って積極的に関わることが第一段階です。3歳児以上になった時に、おもしろく遊ぶ方法を子どもが自ら考えることができるような基礎を作ります。大人と一緒に遊ぶ事も大切です。

- ① 積み木やブロックなどは子どもが創造的に遊べるおもちゃの一つです。遊びの中で考えたり、自ら発見が出来るように援助をしたり、また、それを共感するようにしています。
- ② 仕掛けのあるおもちゃを使って、子どもの好奇心を引き出せるように工夫します。楽しい！と思えるような声掛けや雰囲気作りも重要です。

① ブロック遊び



こっち向きかな～？



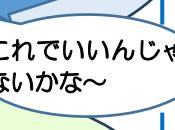
これが作りたいんだ～



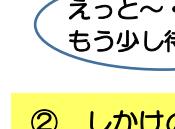
これでどうかな～？



ここに目を張つて…



これでいいんじゃないかな～



えっと～…もう少し待ってね



いないない～

② しかけのあるおもちゃ